

台風18号 交野にも大きな被害

9月15日から16日にかけての台風18号は、長時間にわたる大雨で、全国的に多大な被害をもたらしました。交野市内でも大きな被害が発生しました。

雨量は、2日間で倉治346ミリ、森南181ミリ、妙見東265ミリ、星田西289ミリにも及びました。今回は、昨年8月のような短時間の集中豪雨でなく、長時間の豪雨でした。そのため、山側で土砂災害による道路崩落などが多発し、各地域で、浸水被害も起こりました。

森南3丁目では、38世帯106人に交野市ではじめての避難勧告（土砂災害）が出されました。

—— 主な被害状況 ——

土砂崩れ、道路及び河川・池の陥没・崩落

- ◇森南地域の山側で土砂崩れ
- ◇市道森南傍示線で道路崩落・落石（写真①②）
- ◇石仏の道で道路崩落・落石（写真③）
- ◇郡南街道の道路崩壊・落石・土砂崩れ
- ◇星田9丁目で道路崩落
- ◇寺2丁目で道路法面（のりめん）崩落
- ◇倉治6丁目、がらと川護岸陥没
- ◇神宮寺2丁目で水路への土砂堆積



①②市道森南傍示線の崩落・落石



③石仏の道の倒木

- ◇私市1丁目で水路への土砂堆積
- ◇東倉治5丁目で土砂流出による土砂堆積
- ◇寺・傍示地域の農地法面崩落（写真④）
- ◇倉治公園の法面崩落
- ◇私部城跡公園の法面崩壊
- ◇星田公園の法面崩落
- ◇星田大池の護岸崩落（写真⑤）
- ◇天野川の護岸崩落（私市橋付近）



④寺地区の農地法面崩落



⑤星田大池の護岸崩落

道路・河川の冠水及び、住宅への浸水

- ◇府道久御山線の京阪電車交差点で道路冠水
- ◇ゆうゆうセンター近辺のJR交差道路冠水
- ◇郡津1・3・4丁目住宅地の一部で道路冠水
- ◇交野小学校校庭冠水
- ◇私部西地域、にしゃべ川周辺が冠水（写真⑥）
- ◇床上浸水2件（私部7丁目・幾野4丁目）



⑥にしゃべ川周辺の冠水

災害復旧に1億5千万円を投入

市は9月議会で、1億5千万円の補正予算を計上し、災害復旧の設計・工事にあたっています。

森南の山側や石仏の道は、土砂崩れがはげしく、木や石が一緒に流されています。今後、雨による被害の拡大が心配されます。

9月議会で、水災害対策について質問

近年の水災害は、地球温暖化による降雨量の増大が要因とされますが、交野では、住宅開発に伴う農地の減少による雨水の浸透能力低下が、被害をさらに拡大していると考えられます。

現在市では、被害軽減にむけ、今後の治水対策のあり方を方向づける「水防災検討業務」が進められています。

日本共産党は9月議会で、雨水の流出を抑制するために、遊水池や公共施設の雨水貯留槽の設置、また、補助制度を設けて、住宅や民間建物への雨水浸透・貯留施設の設置推進を求めました。

併せて、住宅開発業者への水災害対策の指導強化などで、安心安全なまちづくりを求めました。



■台風18号がもたらした雨の状況

雨量計の設置局	最大1時間雨量	
	総雨量 (9月15日2時00分から 16日9時00分まで)	
倉治	346 mm	62 mm (15日23時20分 から 翌日0時20分)
森南	181 mm	30 mm (15日23時00分 から 24時00分)
妙見東	265 mm	41 mm (15日23時10分 から 翌日0時10分)
星田西	289 mm	49 mm (15日23時10分 から 翌日0時10分)